

昨年の報告書 (ICTが人と社会にできること2010) に対する評価

アンケート自由意見 (抜粋)

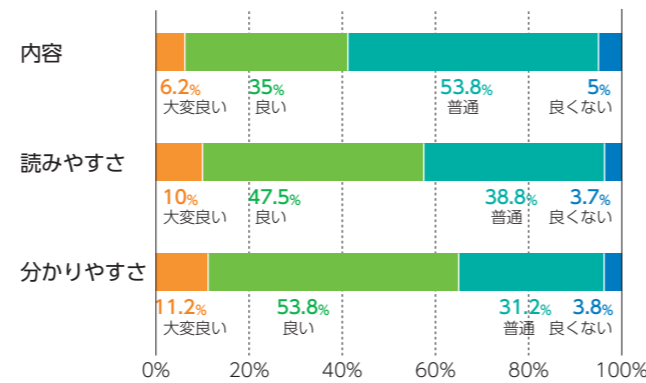
社外から

- 「社員の顔」が多く掲載されていて好感がもてるのと同時に、明るさが伝わってくる。
- 「ICTが人と社会にできること」というテーマがわかりやすく伝えられている。
- スポーツから始まる社会とのつながり、そして社員一人ひとりの活力あふれるアクティビティを感じる。
- 事業活動を通じて社会貢献をしているということがよくわかる。

社員から

- お客さまとのコミュニケーションツールとして有効活用している。
- 紙面も明るく、内容也多岐にわたり日本ユニシスグループ全体のイメージがつかみやすい。
- 一般企業の方にも興味深く、わかりやすい内容になればさらに良いと思う。
- ICT企業らしさ、ユニシスらしさを強調できるCSR報告書を期待している。

社員アンケートの回答



アンケート結果について

社員へのインタビューを中心とした「[人]の目線」からの内容構成、および「読みやすい、わかりやすい、読みたい」報告書をめざす編集方針については、多くの方々から共感いただけたものと考えています。また、内容に関していただいたご意見については、「ICTが人と社会にできること2011」の制作の参考にさせていただいておるとともに、今後のより良い報告書づくりに役立てていきたいと思っております。

日本ユニシスグループCSR活動への評価

- モーニングスター株式会社による「モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI インデックス)※」の構成銘柄に、2005年9月から継続して採用されています。SRI (Socially Responsible Investment: 社会的責任投資) は、企業の評価にあたり、財務状況や成長性だけでなく、その企業が果たしている社会的責任も考慮し、投資判断に利用するもので、日本でも多くのSRIファンドが設定されています。



- 株式会社日本総合研究所による「わが国企業のCSR経営の動向調査 2010」の結果、金融機関などへの企業情報の提供にあたって「社会的責任経営の取り組みの進んだ企業」として選定されました。

※ モーニングスター社会的責任投資株価指数 (MS-SRI インデックス): モーニングスター株式会社が国内上場企業の中から社会性に優れた企業と評価する150社を選定し、その株価を指数化した国内初の社会的責任投資株価指数です。本株価指数は、それを構成する銘柄を含めて、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスター株式会社が信頼できると判断したデータにより指数の算出・管理を行っておりますが、その正確性・完全性等について保証するものではありません。前記事項を制限することなく、たとえ直接的損害、間接的損害、特別損害、懲罰的損害、拡大的損害その他あらゆる損害 (逸失利益を含む) について通知されたとしても、モーニングスター株式会社では、このような損害賠償については、いかなる責任も負いません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社ならびに Morningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。



社内の各部門に対して正しい会計処理を行うための指針を示し、それを遵守するための指導をしています。「健全な財務体質」の企業であることは、お客さまや社会への貢献の一つだと考えます。

日本ユニシス・アカウンティング(株) 石丸 明

ステークホルダーからの期待・要望

「信頼」や「満足」の現状に甘んじることなくさらに良い提案が生まれてくることを期待しています



福島 雄治 様

ユニシス研究会 関東支部 支部長
オリンパスメディカルシステムズ(株)
統括本部医療IT推進部 課長

まず今回の震災対応においては、迅速に我々ユーザーの復旧対応にあたっていただきましてユニシス研究会関東支部を代表し感謝申し上げます。また、当社においても製造やサービスの拠点のいくつかが東北にあり、震災で大きなダメージを受けましたが、おかげさまで迅速に正常化させることができました。重ねて感謝申し上げます。

今年のCSR報告書を拝見し「ICTが人と社会にできること」のスローガンに基づいて日本ユニシスとしての「志」や日頃の社員のみなさんの多岐にわたる取り組み内容がわかりやすく表現されていると同時に、社員のみなさんの「活力」をも感じ取ることができる大変良い内容であると思います。

ICTが社会にとって必要不可欠なものとなっている一方で、人に対して希薄になっている部分が見受けられる昨今、社員が安心していきいきと働き続けられる職場づくりやワークスタイルの変革など、きちんと社員に目を向けて着実に前進されている点は大変参考になります。

これまで長い時間をかけて築き上げた「信頼」や「満足」の現状に甘んじることなく、良い社員や良い環境からこれまでよりもさらに良い提案が生まれてくるものと期待しています。

日本ユニシスグループから

東日本大震災対応で最優先されたのは、お客さま、そして社員と家族などへの対応でした。災害は突然発生しますが、災害対応では普段からの訓練や準備が重要であり、またその時の状況に応じた臨機応変な判断の大切さもあらためて感じました。当社グループにおけるワークスタイル変革は、ICTなどを活用して進んでいる部分とまだまだ遅れている部分が混在しているのが実態だと思います。

一人ひとりがいきいきと働き、暮らしていけるような社会づくりへの貢献を期待しています



栗山 誠 様

ユニシス研究会 中部支部 支部長
中部電力(株)
情報システム部 総括・企画グループ長 部長

日本ユニシスグループは、企業利益の追求だけでなく、社会への影響に責任をもち活動されている企業グループであると感じています。東日本大震災後も早期復旧・復興支援に取り組まれています。

また、経営トップのリーダーシップのもと、ワークライフバランスに関する各種制度を早くから整備して職場風土の改善を図り、柔軟な働き方を実現されていることから、社員にやさしい会社であるとの印象を受けています。勤務制度や教育制度が充実していることを、入社希望の理由にあげる方も多いと伺っています。

さらには、ワークスタイルの変革についても、セキュリティ・労働時間管理・コミュニケーション不足などが不安視されることもあるなかで、ICT企業グループならではの技術力でリスクを解消し、取り組みを加速されています。

それらのノウハウや各種サービスの提供により、安全安心にICTを利用できる環境づくり、多様な生活状況に置かれた一人ひとりがいきいきと働き、暮らしていけるような社会づくりに貢献されることを期待しています。

多田 哲 CSR推進部 部長

日本ユニシスグループや米国ユニシスのエンジニアと連携・協力しながら、技術力を駆使して堅牢で高品質な製品をお客さまへ提供することをめざします。

NULシステムサービス・コーポレーション 岩下 忠資

